

2018年10月26日

2018年度 日本建築学会大会（東北）学術講演会
防火部門 若手優秀発表賞 顕彰者

一般社団法人 日本建築学会
防 火 委 員 会
委員長 萩原 一郎

- | | | |
|---------------|------|---|
| 折原 卓（東京理科大学） | 3003 | 焼損床面積の期待値と防火区画面積の関係 |
| 市川 修暉（京都大学） | 3032 | 気密性の高い空間における火災性状のモデル化 |
| 河野 蒼（芝浦工業大学） | 3056 | 流下水膜により遮熱された輻射加熱下ガラス壁の温度分布測定 |
| 高橋 由里（東京理科大学） | 3061 | 群集歩行性状に関する研究 低速度歩行者を混在させた群集流における避難完了時間に関する考察 |
| 榎本 満帆（早稲田大学） | 3068 | 避難時の経路選択特性の VR による再現性の検討—実空間の地下街実験と VR 空間実験を通じて その 2 出口到達と交差点での経路選択特性の再現性検証 |
| 沖 拓弥（東京工業大学） | 3088 | 緑化と空き家除却による物的・人的被害の低減効果 木造住宅密集地域における緑化と空き家除却が大地震時の住民避難に資する効果分析 その 2 |
| 山口 智世（竹中工務店） | 3127 | 2 時間耐火性能を有する燃え止まり型木質耐火構造部材に関する研究 その 1 適正な燃えしろ層厚さの把握 |
| 斉吉 大河（早稲田大学） | 3128 | 2 時間耐火性能を有する燃え止まり型木質耐火構造部材に関する研究 その 2 適正な燃えしろ層厚さに対応した燃え止まり層の必要性能の検討 |
| 宮木 彰一（東京理科大学） | 3152 | ハットトラス付き鋼架構におけるリダンダンシーと鋼材のばらつきが崩壊温度に与える影響 |
| 鈴木 達朗（大成建設） | 3189 | 火災加熱される木質部材内部の水分移動計測手法の開発研究 その 2 小型含水率計及び絶乾法により算出した含水率分布の比較 |

(審査対象者 83 名)